

Friendship News

フレンドシップニュース

世界へ向けて

No. 94



SIA 財団法人埼玉県国際交流協会

埼玉から

S a i t a m a I n t e r n a t i o n a l A s s o c i a t i o n

Friendship News

特集

平成24年度 SIA事業紹介

多文化共生社会の実現に向けた 取り組みを進めます



- ① 「在住外国人支援」
 - ② 「国際理解の促進」
 - ③ 「NGO・ボランティアの支援」
- の3つの柱に沿って、引き続きさまざまな事業を展開していきます。



今や埼玉県では、実に60人に1人が外国人住民であり、最も多い地域では、2万人以上の外国人が一つの市に住んでいます。国籍を見ると、約150か国にもなっており、まさに世界中の人々が埼玉県に集まっていると言っても過言ではありません。

学校や職場などでは、日本人と外国人と一緒に活動することが日常的となっていますが、日ごろ外国人との接点がなく、外国人は自分たちと違う特別な存在と考えている日本人も少なくありません。

東日本大震災の被災地では、日本語が不自由な外国人が災害弱者としてクローズアップされた一方で、支援する側に回った外国人も多数見受けられました。

そこで、埼玉県国際交流協会は、外国人と日本人とが相互理解を深め、「多文化共生社会」の実現に向けた取組を進めてまいります。